



災害時の避難支援のために 個別避難計画を作成しましょう



東日本大震災や近年の豪雨災害等において、高齢者や障がい者等多くの方が犠牲となられています。令和3年5月に災害対策基本法が改正され、個別避難計画の作成が市町村の努力義務とされました。

赤磐市では、地域の方々や福祉専門職等の皆様と連携して、個別避難計画の作成に取り組んでいます。



個別避難計画とは

災害時の避難に支援が必要な方（避難行動要支援者）一人ひとりに合わせた避難支援に関する計画のことです。災害発生時に、要支援者一人ひとりに対しての避難を支援できるよう、避難行動要支援者の方の状況や避難先、避難を支援する方法などを記載したものです。

なお、避難を支援する方による災害時の避難支援を必ずしも保証するものではありません。

避難行動要支援者とは

災害時に自力で避難することが困難な方で、以下のいずれかの要件に該当する方

1. 要介護認定3、4又は5を受けている。
2. 身体障害者手帳1級又は2級（総合等級）の第1種を所持している（心臓、じん臓機能障害のみの者は除く。）
3. 療育手帳Aを所持している。
4. 精神障害者保健福祉手帳1級を所持している。
5. 障害福祉サービスの介護給付等を受けている難病患者
6. 75歳以上の高齢者のみの世帯
7. 上記以外で支援を必要とする方

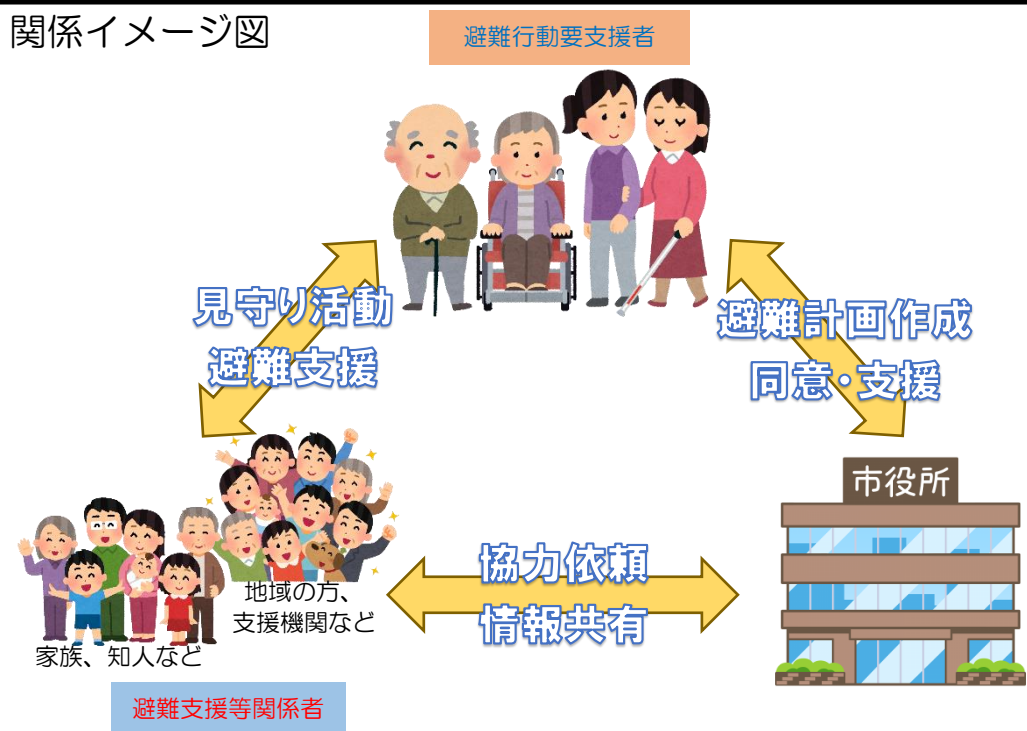


普段から災害が起こったことをイメージして、災害に備えておくことが重要です。

定期的に家族で防災について話し合い、防災グッズや備蓄食料の確認をしましょう。



関係イメージ図



よくある質問

Q 個別避難計画をつくれば、必ず助けがきますか？

A 災害時は、支援者も被害にあい、支援活動ができないことも考えられます。個別避難計画は、救出を必ずお約束するものではありませんが、情報の共有や伝達がスムーズになることで、災害時の早期対応を進めていきます。要支援者は一人ひとり必要とする支援の内容が異なりますので、それぞれの特徴に配慮した支援の内容を要支援者やその家族と相談しながら支援者とともに整理しましょう。

Q 支援者はどのように決めればいいですか？

A 支援者はできるだけ早く駆けつけられるように、家族や隣近所の顔見知りの方や町会の同じ班の方など、なるべく身近な人たちが望まれます。要支援者が日頃から親しくしている方が身近におられる場合は、支援者としてお願いしてください。支援者を地域（自主防災組織、消防団など）とする場合は、団体の情報を記載してください。

Q 避難場所はどのように決めればいいですか？

A 避難場所は、市が指定する災害時避難所、またはハザードマップなどを参考に、災害の種類や地域の条件を考えて、命の安全が確保できる場所を想定してください。また、自宅で過ごせる場合は自宅避難、自宅で過ごせない場合は安全な友人・親せき宅への避難を選択肢として、事前に連絡しておくことも重要です。

赤 磐 市 個 別 避 難 計 画 書

作成日:令和 5年 1月 1日

更新日:令和 5年 4月 1日

対象者番号	99999			※下線部は必須項目		
ふりがな	あか いわ たろう	年齢	78	性別	男・女	血液型
氏名	赤 磐 太郎		78		男・女	A・B・O・AB
住所	〒701-2401 赤磐市下市344			地区名	下市	
自宅番号	086 - 955 - 1234		携帯番号	090-1234-5678		
支援区分	☐ 高齢 ☐ 身体 ☐ 療育 ☐ 精神 ☒ 介護 ☐ その他()					
避難場所	風水害時:〇〇中学校			地震時:〇〇センター		
世帯の構成	☐ ひとり暮らし → 全員65歳以上か ☒ 同居人あり (はい・いいえ)					
世帯の構成員	赤 磐 幸子 (妻) 76歳 () 歳 () 歳 () 歳 () 歳 () 歳					
かかりつけ医療機関	〇〇〇クリニック ×××病院		常備薬の有無	☒ 有・無 置き場所:台所の戸棚 種類:高血圧		
緊急連絡先	1	岡山 太郎	続柄	甥	電話番号	090-1111-2222
	2	赤 磐 花子	続柄	妹	電話番号	090-3333-4444
	3		続柄		電話番号	
避難の支援をしてくれる方(親戚・知人)	1	戸成 知人	続柄	隣人	電話番号	086-955-0000
	2	第1常会、消防団等	続柄		電話番号	
	3		続柄		電話番号	

(あてはまるものすべてに ☒)	
☒ 介護保険の認定を受けている【要介護状態区分:要介護度3】	
☐ 手帳所持【障害名: 等級: 】	
☐ 難病の特定医療費、小児慢性特定疾病医療費の支給認定を受けている	
☐ 医療機器の装着等をしている ☒ 立つことや歩行ができない	
☐ 音が聞こえない(聞き取りにくい) ☐ 物が見えない(見えにくい)	
☐ 言葉や文字の理解が難しい ☐ 危険なことを判断できない	
☐ 顔を見ても知人や家族と分からない	
☐ その他 ()	
特記	※災害時の避難支援を円滑にするため知らせたいこと
災害支援内容	支援が必要な時間帯: ☒ 常時 ☐ その他() 歩行が困難なので、避難の際は車いすを使用してください。
避難経路図	
移動手段: 車	

令和 5年 4月 1日

上記の内容について、誤りがないことを確認するとともに、以下のことについて了承します。

- 1 避難支援関係者に提供します。
- 2 当該計画は災害等での避難支援が必ずなされることを保証するものではなく、関係者に法的な責任や義務を負わせるものではありません。
- 3 重要事項説明書の項目について、内容を確認し了承します。

本人署名 赤 磐 太郎

代理署名

(本人との関係)